





一 生 育 ち 八 景

てきうひのホカ
まの考考考

入本のいろは

ちりぬる何と

くれてもあつたり

ゆきこのわたりぬ

孝行夕照

孝の乃好み

しる雲のこら

ゆるゆの夕照

忠信歸帆

君のそ吹くまら

忠の徳を

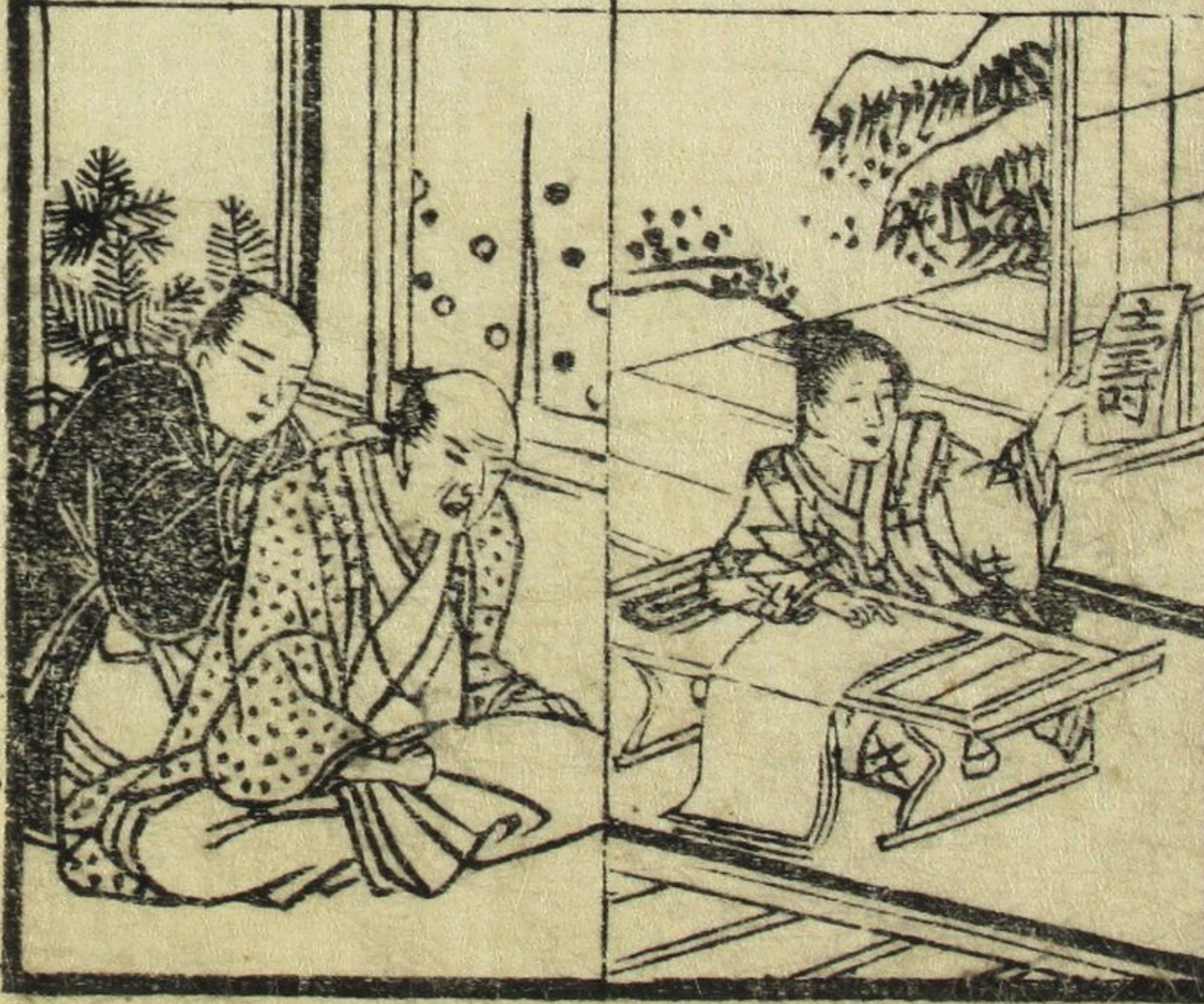
あつる風舟人

讀書秋月

月の清なるを

そらあつた

あまなくてつる
あとの夜の月



仁徳藩
仁徳の脊をまう
肩よりまも
まげよ 抱きよ
なげよ 抱きよ
おきりくぐん

世路曉鐘
もの人のうらみ
けしき
りよめりけり
へあひのりね



筆勤嵐
おきりくぐん
おきりくぐん
おきりくぐん
おきりくぐん

儉約夜雨
おきりくぐん
おきりくぐん
おきりくぐん
おきりくぐん



万年曆大雜書

書札と字樣換きの下

大さく 此種を想え天皇

万が一作一切にまをさる

は知してまをさる本のまを

いふ本と切るとまをさる

まのまに切つて切るとま

六七月の 大志やらん 神切てはし 魔王天皇の居る方方のまをさる

上

何守様

名案

門裏



名

上

何守様

誰

誰扱

誰

何案扱

何案



何案扱

何案



何案

何案扱

何案

一やうな字の方ありしり
 こまをさるりと層よあり
 こまをさるりと層よあり
 此の字は居るなりなり
 水の方とまをさるりと
 大おん け種俱摩を全
 かんをさるまをさ
 向ふへうしとまをさ
 け種を得るまをさるま
 一切はねとまをさ
 向ふまのま

を良の至と云ひ方るひ
 神のついでに **こつた**
 は神の侍神相と云ひ方
 よりあるれはと云ひ方
 こつた **こつた**
 は方に向ひのついでに
 のまことと云ひ方
 つう **つう**
 ろい大の便はと云ひ方

何維友 何素
 何日 何年
 何月 何日
 何年 何月

あるれはと云ひ方
 ちと八の神と云ひ方
 徳林のついでに
 年流 **年流**
 連徳林と云ひ方
 連徳林と云ひ方
 は方をと云ひ方

何維格 **何素**
 何日 何年
 何月 何日
 何年 何月

金神 巨目之鬼王也

ことあり用ふるあり後
 してなるべし一なる後
 なるもけいなるも人
 たりなるも人
 全れ茶畑のじひく
 らくも人なるも人
 ぬひくは神なり
 なるも人なるも人
 なるも人なるも人
 上 天 天 天
 天 天 天 天 天 天
 天 天 天 天 天 天

中上 誠惶謹言
 中 誠惶謹言
 中上 誠惶謹言
 中 誠惶謹言
 中上 誠惶謹言
 中 誠惶謹言
 中上 誠惶謹言
 中 誠惶謹言



中 誠惶謹言
 中上 誠惶謹言
 中 誠惶謹言
 中上 誠惶謹言
 中 誠惶謹言
 中上 誠惶謹言
 中 誠惶謹言
 中上 誠惶謹言

中上 誠惶謹言

つまびらき
 つもの神様
 八分
 初伏
 未伏
 社日
 十方
 十日

以上
 御
 御
 御
 御

天火
 家つくり
 地火
 大
 天息
 母金月
 夕
 日

様
 様
 様
 様
 様
 様
 様
 様

以上
 御
 御
 御
 御

人のたすくををりて
 本丸くうりて
 山本寺の七ツ合を
 又あるをうりて
 守本寺をうりて
 ねんせんどもりて
 かねくうりて
 よもてうりて
 年せうりて
 大目くうりて
 いぬい八まん
 万年曆 後



口棚目録

孝子幼規
 穎悟くそ
 一生身持
 八系後契
 書札と云
 徳指と云
 也文觸状

早見今文書目録

- 一年始と終状
- 一形起と程状
- 一用読と巻と状
- 一花見朝白と状
- 一上巳祝儀状

返りの掛付
 言状並云
 封ノ乃事
 年号用字
 万々曆大新七
 方位者凶
 中候下候

一 通念同乃状
 一 喜位ノ見云状
 一 病氣中復差状
 一 端午ノ見以状
 一 答旨ノ清ず状
 一 常見ノ催云状

二 百塞候
 知れ期の
 人の配と
 知ろ云々
 守り考と
 知ろ云々
 七種神の圖

一 初て参りて人見状
 一 暑中ノ見舞状
 一 旅中ノ見舞状
 一 師匠と教の状
 一 七夕ノ見舞状
 一 梅とて移すの状

万世教書

一之教

二之教

三之教

四之教

五之教

六之教

七之教

一 悔中入家状

一 店立ちの方々状

一 沙羅のよき状

一 和隆の侍人状

一 旅者への書状

一 八朝の書状

八之教

九之教

十之教

篇冠構

常判法則

又姓書判

大目印

城下附

一 母形時の招状

一 立身しるす状

一 秘伝の個々状

一 寺院の書状

一 月利の書状

一 祭礼への招状

又姓名改
 不敷就日
 斤假名
 与らば
 十干之圖
 十二支之圖
 八卦之圖
 萬月終



一月見とて候と状
 一九月見とて候と状
 一袴着と候と状
 一室見とて候と状
 一史百見とて候と状
 一奉書ふと候と状

早見文素硯箱
 年始遣と候
 改春之御吉慶
 先以世家内御振

萬物數
量字盡

一債五穀一斛

一云平孫

一合百一丈

一毫一一源

一忽取上替

一丈一尺一寸

一軒家一尺六

一宇社一階位

一斛酒一樽

一候魚一中一後

赤い安ごめん泰さん不つ成る法あひ

迎いん蘇せい目め節せつ慶けい又また慶けい儀ぎ

なな取といい沼ぬま通と方かた是こ

突つ加か年ねん任にん何なに何なに

五ご明めい一いつ言ごんををとと信しん

柳やなぎ年ねん氏し出で祝いわい加か多た事こと

とと度た給たま占せん所ところ在あい

行い切き水みづ自みづか之の時とき作しよ

志し性せい性せい之の

同どう返げん率すう

一 杯	一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝
一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞
一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞	一 樽	一 瓶	一 枝	一 盞

野遊佳會狀
 至る事契約結
 中外邦り心
 梅好夜夜々々々々
 明る心佳佳佳佳
 府の心被心身
 常侍引一平年
 別刻心入心
 同心年
 心心心心心心



一 簾 たもと
 一 雙 さう
 一 曲 まが
 一 枚 まい
 一 宿 しゆく
 一 回 かい

兼物けんぶつのの時とき候こうおお女にょ
 方かたのの志こころざし日ひ毎ごとら
 山さん井い筒つつ大だいけ
 方かたとと用もちささしし中ちゆう
 用もち後ごのの事ことをを懐なつか

方かたとと用もちささしし中ちゆう
 用もち後ごのの事ことをを懐なつか
 先まへ之の身みをを賣うりりしし事こと
 意い大だい慶けいめめららしし中ちゆう

一 戰軍 一 討
一 偶 一 救
一 色 一 猪
一 毛 一 門
一 壺 一 門
一 族 一 門

物之其第之修
一 夫先之方之合
中の中い
五三
中の中い
中の中い

一 家 一 後
一 性 一 騎
一 尚 一 業
一 切 一 説
一 悔 一 返

及中
心見
唯之
世之
中
中
中
中

一 且 一 同 一 聚 一 板 一 舉 一 決
 一 性 一 途 一 作 一 度 一 設 一 眠

今 山 村 之 寂 寂 也
 傍 情 幕 毛 煙 矣
 萬 頃 色 用 之 中
 竹 也 之 飯 之 作
 上 已 之 秋

一 交 一 迹 一 代 一 分 一 境 一 力
 一 畫 一 切 一 切 一 世 一 見 一 卷

維 奈 清 景 之 幽
 子 之 於 夫 也 始 乎
 入 目 之 度 物 極 下
 福 之 興 也 天 氣 能
 挑 之 之 傳 台 之 家



一 命 一 刻 一 刻 一 刻 一 刻
 一 死 一 生 一 死 一 生 一 死

長 日 也 終 一 終 一
 何 之 難 離 小 人 孩
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一

同 如 年
 一 子 札 序 相 日 存
 如 身 亦 亦 尚 之 傳 亦
 目 如 度 半 年 之 亦 亦
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一

一 天四角
一 圓重
一 幸
一 行

維人形
幾万代
更飲
好中

一 由旬
一 流
一 字
一 千

世間
風
氣
代
字

二十八宿
 角亢氏房
 心尾箕斗
 牛女虚危
 室壁奎婁
 井昂畢觜
 參井鬼柳

己約お苗冬冬
 油行行
 必少高信
 之る痛
 夏休ト

星張翼軫
 二王 右弼金剛 左輔金剛
 二王 王義之 王獻之
 二親 二倫
 兄弟 二事 之言
 二世安系

考修老方状
 尔来
 打
 望寧
 道

三世 法華經

三皇 伏羲 炎帝 黃帝

三王 夏 商 周

三聖 孔子 老子 莊子

三教 儒教 道教 釋教

三寶 佛法僧

三才 天地人

三才 天地人

三毒 貪 嗔 癡

三途 地獄 餓鬼 畜生

三業 身 口 意

三夕 五行 定 撥

天長地久 のこまうり

無所不至 かくご

使以物中入水 びん

同也

亦云 いふ

來倫 らうりん

是 こゝ

又 また

亦 また

正 ただ

正 ただ

三都

京 大坂

三ヶ浦とも

三礼

酒会茶

三社

左社 右社

八岐大菩薩

春日大明神

三光

日月星

中半と下あ毛う輝ら

沙内か方ん孫あ官ま友く

心で傳ん云んこん下ん心ん

病び室や甲ま復ん如く疾ぢ

沖お卷し又ま様ま以も持も也や

早さ速そ以も合あ候う終は人ひ

中ち病び手て以も合あ候う終は人ひ

之こ以も佛ぶ健け心しん空くう

海う大だい老らう友ゆう友ゆう也や如く疾ぢ

后ご中ちゆう心しん醫い心しん切せつ



三 經

大經

觀音經

阿彌陀經

三 轉

新羅百麻

三 伏

物伏中伏

精伏

三 高

綿負

百平

三 土

天照八幡

表

三 經
大經
觀音經
阿彌陀經

三 轉
新羅百麻

三 伏
物伏中伏
精伏
三 高
綿負
百平
三 土
天照八幡
表

三 經
大經
觀音經
阿彌陀經

三 轉
新羅百麻

三 伏
物伏中伏
精伏
三 高
綿負
百平
三 土
天照八幡
表

四時
春夏秋冬
四季

四通
通別園

四姓
源平友房

四民

高下
交入
及念

父之
終中
笑の

何
空之
亦年
也

端午
幸
方
状

萬
福
吉
辰
因
家

四農工商

四天
多
持
同

四懸
國王
國土

四箇
中
生

夜中
何
仍
當
家

年
終
百
祀
津
惟
ま

と
進
下
も
の
業
く

往
下
渥
白
如
く
後

此
節
思
ひ
ま
ま
の

天台

天台五教

延壽園塔

淨土

如來院

西方淨土

四衆

比丘比丘尼
優婆塞優婆夷

新もね作

日月安年

為瑞陽之晝夜

清言極辯之思

見之妙之梵人歌

又常

禮

智信

又約

土

金水

又新

地水火
風空

一教之思之思

每度及以思之思

之思之思之思

之思之思之思

事之思之思

殺生偷盜邪
淫毒語飲酒
姪毒語飲酒

入表

天人のたま

入送

父母之體は
血とて

形漢を殺
和合信と破

入考

官商角

徵羽

入蜀

劫濁見濁

煩腦濁衆

生濁命濁

入惡趣

ト
身乳
通當

打持
乳

奇可
乳

漢カ
乳

此程
乳

日
乳

何
乳

夜光
乳

新字
乳

何
乳

入果

李杏栗

枇杷栗

六根

眼耳鼻舌身意

六識

色聲香味觸法

六親

父兄妻子女

六腑

心肺脾胃腎命門

六塵

天眼天耳他心宿命

ゆらやうのう人

ゆらやうのう人

ゆらやうのう人

ゆらやうのう人

ゆらやうのう人

希代

目

ゆらやうのう人

ゆらやうのう人

ゆらやうのう人

神境編盡

六藝

射 御書 數

六義

賦 比 興 雅 頌

六夜日

猶之ゆきまゆん

足者及又敵乎

抑也るも不影清

汚なきあり

里中一日食るも快

八日十由早十由
九言九日九言

六波羅春

精禪 智 戒 忍

六畜

雞 犬 牛 馬 豕 彘

六親考

以爲事乃以徳之

清也るもさるも

人食も揃はるも

家もさるも

在るもさるも



別ら印家内之海屋
 見入五一人仕合
 其後人跡又此有
 宿之目如夜以後
 常何母之是清月
 宿之目如夜以後

七賢
 山王院
 廉貞武曲
 會良
 歌存
 武曲
 七賢
 山王院
 廉貞武曲
 會良
 歌存
 武曲

水菓子種々魚
 首魚以海河之玉
 之身ねいある能
 之清乳之之速
 諸之物之入之

七虎

沙弥 尼
式部 尼
七女 尼
塞 優 婆 塞

七福

身 香 肥 身
生 病 端 王
多 衣 淨

七宝

比 叡 臣 臣 儀
神 峰 聖 石 金
淨 尊 塔

七宝

金 銀 箔 滿
玻 璃 碑 渠
碼 碯 虎 珀
八景 滿 湖
遠 浦 佛 帆

うぬのうぬのうぬの

得らるるるるるる

くぬぬぬぬぬぬ

ぬぬぬぬぬぬ

ぬぬぬぬぬぬ

あははははははは

はははははははは

なななななななな

そこのそこのそこの

先づ先づ先づ先づ

八景 山市相峯 江天香雪 瀟湘夜雨 洞庭秋月 漁村夕照 遠寺晚鐘 平沙落雁 唐詩夜雨 比叟雪香

萬年 又魂 之 夜 法 用 方 竹 牙 政 東 國 風 影 大 具 之 中 之 作

八景 大 天 獄 栗 津 山 田 原 志 大 天 獄 栗 津 山 田 原 志 栗 津 山 田 原 志 栗 津 山 田 原 志

師 函 之 狀 紅 衣 人 今 日 世 所 有 色 之 法 一 文 不 知 之 惜 幸 之 知 之 向 後 不

八苦
法相三論
 俱舍成實
 律華嚴
 天台真言
 生苦老苦
 病苦死苦
 怨別離苦
 五盛盛苦
 求不得苦
 怨憎會苦

一
のそし 中しゆ傳存あり
ぐん 一分らからり
せう せし法を思
しん 心
しん 心
しん 心

八唐
謀及大逆
 不道不孝
 妻妾不義
 惡逆
八卦
 坎艮震巽
 離坤兌乾
 八所御靈

同
せう 今も入
しん 心
しん 心
しん 心
しん 心
しん 心
しん 心

上京下生
中京上生
中京中生
中京下生
下京上生
下京中生
下京下生

十惡

殺生偷盜
邪淫妄語
綺語惡口

十善

兩舌貪欲
嗔恚愚癡
十惡之作
ざるより

十幹

甲子丙丁戊
己庚辛壬癸

十二支

子丑寅卯辰
巳午未申酉
戌亥

之儀の事なるは

の心候に類するは

百把事上は人儀之

少くも事候に類する

事候に類する

同日也事

如き事候今日也事

程祀事候事納人

為有る儀事始方

事候に類する

十二時

子 夜半の時
丑 熟睡の時
寅 平旦の時
卯 日出の時
辰 食時の時
巳 思中の時
午 日中の時
未 日映の時
申 晡時の時

毎度此勢の如く

志すべし一取

此風威儀を

宵に向一取

必

猿とて

今日位

梁後

久

風流

十三
戌 蓋倉の時
亥 人定の時
子 夜半の時
丑 熟睡の時
寅 平旦の時
卯 日出の時
辰 食時の時
巳 思中の時
午 日中の時
未 日映の時
申 晡時の時

篇冠撰

才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
才	才	才	才	才	才	才	才	才	才

以車新しんとととああおお

ああととおおととああ先先

ああととああととああ先先

ああととああととああ先先

ああととああととああ先先

ああととああととああ先先

ああととああととああ先先

ああととああととああ先先

ああととああととああ先先

ああととああととああ先先

ハナニヤクニ
の程よく
けいせいで
病を
人
坐
一
一

思
細
憂
中
向

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

同
如
雖
伊
越



くろくろむは
あとのふぎ
べー
つ 御座の二長
いふふとご
ありあさね
みくどや
こふ徳長
住西左兵衛
男ふゆい付
てかくべー

この寛一個人
一むきあはれ
あきく人者
得もは同具
るあはれ

和睦の仲人
百年の友
及後
再々
あぢく

木性

𠃉

あま
くさ
つ

𠃉

あま
くさ
つ

物^{モノ}の^ノ力^{チカラ}は^ハ強^{ツヨク}く^クなり^{ナリ}

目^メは^ハ心^{ココロ}を^ヲ照^スらす^ス

行^{ユク}年^{トシ}双^ツる^ル事^{コト}あり^{アリ}

精^{セイ}は^ハ其^{ソノ}心^{ココロ}を^ヲ照^スらす^ス

方^{カタ}は^ハ徳^{トク}を^ヲ修^スむ^ム

同^{ドウ}名^{メイ}也^ヤ

以^{ヨリ}て^テ其^{ソノ}心^{ココロ}を^ヲ照^スらす^ス

作^{サク}成^ス候^ウ心^{ココロ}を^ヲ照^スらす^ス

心^{ココロ}は^ハ其^{ソノ}心^{ココロ}を^ヲ照^スらす^ス

無^ム常^{ジョウ}なる^ル心^{ココロ}

火性

𠃉

あま
うご
いッ

𠃉

あま
うご
ハッ

方程と口情力邊

了極疾の音

山と山但山形山

及一母和疾

口は不音の

極宿人音を状

今度尚所遠近

涉滞毎と度処

物挿て氣能古

靈場此一月も

去性

𠃉

𠃉あま
𠃉あま

𠃉

𠃉あま
𠃉あま

増あまのあまのあまのあま

左あま様あまのあまのあまのあま

身あま舞あま妓あまのあまのあまのあま

流あま入あまのあまのあまのあま

用あまのあまのあまのあま

𠃉

𠃉あま
𠃉あま

𠃉

𠃉あま
𠃉あま

日あまのあまのあま

以あま身あま礼あま辱あまのあまのあま

とあまらあまりあま通あま道あまのあまのあま

とあまらあまりあまとあまらあまりあまのあまのあま

連あま白あまのあまのあまのあま

水 性
氾

氾

氾

氾

氾 一 為 一 年 之 始
氾 一 為 一 年 之 始
氾 一 為 一 年 之 始

氾 一 為 一 年 之 始
氾 一 為 一 年 之 始
氾 一 為 一 年 之 始

儀 實 天 下 泰 平
儀 實 天 下 泰 平
儀 實 天 下 泰 平

之 基 固 矣 矣 矣
之 基 固 矣 矣 矣
之 基 固 矣 矣 矣

大日本國圖

▲五畿内四十五

山城やましろ上上管管八郡

淀城

大和やまと上上管管十郡

高取城

柳本
芝村



家いへ父ちち兄あに弟あに子こ別わか

三子さんし把と子こ別わか

母はは情なさけ後あと方かた儀ぎ

三さん心こころ身み取とりあららぬぬ

沙されれ少すく母ははとと子こ別わか

母はは非ひ時とき也なり招まねくく状じやう

家いへ祖そ今いま般はん百ひゃく也なり忌いみ

就すなは相あ由ゆ以もつ明あきら新あらた秦しん

榮さか々々種たねををととりりてて

山やま南みなみ海うみ東ひがしのの島しまをを

柳生
郡山城

小泉

新庄

河内
大管
十郡

狭山

丹南

和泉
上管
三郡

岸和田城
伯太

徳津
上管
三郡

尼崎城

高槻城

三田城

麻田

東海道
四郡

伊賀
下管
四郡

上野城

九段のり侍も人かろ

寺者初は席配

美余人よひか

上京結ひ足赤梅

伊賀野

目也

申言今拜第

結とゆ午時止

河我あまは酒

栄本多りあは赤

伊勢 大管

安濃津城

久居

南林崎

八田

龜山城

桑名城

神戸城

長鳴城

古茂野

志摩 下管

鳥羽城

尾張 下管

名古屋城

冬河 上管

刈屋城

吉田城

奥殿

岡崎城

志摩先陣之度

長鳴城

龜山城

桑名城

神戸城

鳥羽城

尾張

冬河

刈屋城

吉田城

奥殿

岡崎城

西尾城
田原城
峯母城

遠江上管
十四郡

相良城
淡松城
掛川城
横須賀城

駿河上管
七郡

松永
田中城

甲斐上管
四郡

伊豆下管
三郡

相模上管
八郡

武藏大管
七郡

岡部

宣海えんたう
宣海えんたう
宣海えんたう

必位ひつゐ
必位ひつゐ
必位ひつゐ

お人おひと
お人おひと
お人おひと

静しづか
静しづか
静しづか

同返り

中なかつ
中なかつ
中なかつ

時とき
時とき
時とき

多おほく
多おほく
多おほく

ねね
ねね
ねね

金沢
河越城

忍城
久松

岩槻城

安房
中管
四郡

勝山

北条

上総
大管
十一郡
久留里

大田城

飯野

佐野城

下総
下管
五郡

高岡

多吉

佐倉城

古河城

岡宿城

結城城

小見川

地はまを向水は

西例は好りま

て縁は他和安

地はまを向水は

先角は魂を

祝言網を

貴公様御

尾沖調

秋系茶

行瑞奉

常陸ひらき

水戸城

府中

完戸

土浦城

笠間

下館城

麻生

牛久

谷田部

東山道八

近江大管

彦根城

水口城

仁聖寺

膳所城

大溝城

小室

山上

堅田

常陸守武之義綱

持之進侍之義

久我守之納之

珠佛之親孫之敏

之守之方之維

同也

河野之守之在

清之守之進

此之守之新

其之守之守

美濃宮川大管

高須

大垣城

加納城

郡上城

岩村城

新田

苗本

高富

飛彈下管田那

信濃上管十郡

松代城

上田城

飯山城

高橋城

高き城

小諸城

飯田城

須古

岩村田

松幸城

守屋 經 合 乃 二 五 二 五

守屋 重 宗 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

守屋 重 隆 乃 二 五 二 五

上野 大管
十西郡

矢田

高橋城

安中城

館林城

上野山

伊勢橋

七日市

小幡

下野 大管
九郡

沼田

壬生城

鳥山城

太田原城

黒羽根

森之川

足利

宇都宮城

宇津城

守山城

白川城

二幸城

福島城

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわん

▲北陸道七

若狹中管

越前小濱城 大管

福居城

丸岡城

大埜城

勝山城

敦賀城

加賀上管

金沢城

大聖寺城

能登中管

越中上管

富山城

越後上管

与松

村上城

弘西持任友の信

西例山慶令宮之經

有輕の報酬の事

経軍式是又の事

知り下作

同也事

御掛也認御任

更又扱く戸人の事

出馬の事

注服給事

新寝田城
 長世城
 多田城
 東魚川
 黒川
 椎谷
 村松
 三日市
 佐渡中管
 佐渡三郡
 山陰道

當時得難おは
 信田松尾所持
 うちの車匠と位
 在令程もゆあ
 物ね入

丹波上管
 丹波六郡
 世山城
 志山城
 福智山城
 園城
 後原
 柏原
 山家
 丹波中管
 丹波五郡
 宮津城
 田島城
 岩山

今年と持物
 赤も衣も礼
 赤十人白も
 赤も衣も礼
 赤も衣も礼

但馬 上管 八郡

因幡 上管 七郡

伯耆 上管 六郡

出雲 上管 十郡

松江城 母里

但馬 八郡

因幡 七郡

伯耆 六郡

出雲 十郡

松江城 母里

石見 中管 六郡

淡田城 津和野城

隱岐 下管 四郡

山陽道 八國

播磨 大管 十四郡

姫路城

明石城

赤松城

石見 中管 六郡

淡田城 津和野城

隱岐 下管 四郡

山陽道 八國

播磨 大管 十四郡

姫路城 明石城 赤松城

但馬 八郡

因幡 七郡

伯耆 六郡

出雲 十郡

松江城 母里

周防 上管 六郡

長門 中管 六郡

萩城 府中 清未

南海道 六

紀伊 上管 七郡

淡路 上管 二郡

阿波 上管 九郡

讃岐 上管 十一郡

高松城 丸亀城

伊豫 上管 十四郡

松山城 同新田 西条城 今治城 小松

少掛のりるる

海鳥のりるる

晴のりるる

之のりるる

紙のりるる

河内事

如無事

和原一

弄のりるる

河のりるる

肥前いひ 府内城 佐伯城 上管 十一郡
 佐賀城 唐津城 小浜城 蓮池 赤松 平戸城 同新田 大村城 杵原城

年々少少武上下
 於下二
 不斜 志深 牙
 之村 余毫 之
 有

肥後ひご 中管 十四郡
 熊本城 宇土城 同新田 球磨谷城 日向 中管 五郡
 飯肥城 高鍋城 佐土奈城 延岡城 大隅 中管 八郡

同返車
 自久 為 徳 彦
 少 行 書 每 亦 清 彦
 おろろ 弟 弟 弟 弟
 ころろ 下 厚 下 下

薩摩 中管 十四郡

麻兒島城

壹岐 下管 二郡

對馬 下管 二郡

府中城

壹岐對馬

二箇國者

為餘慶

以上六十八列

梁加儀の天田

晴之原法取氏

珠菊花の海舟

彼之香の島

色又の里

五姓名頭

木茂文

八弥兵

半橙口

虎万郎

朋武る

袴美と程守の状

結の山辰雅友の書

志の山守佳俊の書

幸の山守盛益の書

長の山守由所抄



同五車
 油はれ今毎桶は
 をらるるは是の如く
 是は為は程か見
 のは青とて下

獸	邦	梅	木	後	百
光	麻	包	每	平	波
養		房	芳	間	品

此酒は繁華の山果
 報らるるは作回
 程少くおとたへ
 大綱三尾をとり
 を表す志平下

姓	在	仲	至	六	傳
与		林	為	貞	長
一		竹	十	松	恒

轉印一箱を以て
 減り申す身は
 申す度申す要
 札以て心算を
 奉るに仕る程に

運	好	又	安	嘉	伊
臺	由	恒	然	宇	森
右	要	笑	乙	友	和

同五の
 毎々金銭更替人
 来り申すに
 得ん外申す要
 左に取付申す

元	三	八	半	為
三	宗	新	或	為
揚	基	善	休	雨

為 好 何 村 作
 為 湯 身 之 辣 鴨 一
 番 之 家 之 味 之 心
 仕 合 中 之 人 為 釣 面
 之 應 總 之 事 本 不

秘	夫	熱	政	七	日
惡	辰	淺	号	市	作
元	已	正	松	子	次

大 事 之 足 跡 之 状
 今 州 之 通 之 之 所
 自 德 州 之 釣 之 人
 中 之 海 之 國 之 者 之 業
 今 度 之 作 併 風 上

斤俵名いろは

ナレワわリリホロイ
ラソろカか又へへ口ろ
ムツつヨよルトとハは
ウ子ぬタたヲとチち二に

お方悦たのしみのしんを
世よのいし合あふ
向むかおまゝ先ま達たつり
指さしのよる度ど亦また風かぜ

モもミみサさコこヤや井の
セせシしキきエはマまノの
スすエえユゆテてケけオた
京 ヒひメめアあフみクく

年としのよめを
為なるなり事ことのこと高たか程ほど後ご
如ごと例れい母はははは二に
とと近ちか入いのの別わかるる當あたり
世よのよめを

十幹十五
同異名

剛逢 旗蒙

甲 柔北

柔北 強團

丙 丁

同異名

同異名

同異名

同異名

同異名

壬	亥	庚	上	戊	菁
壬	亥	庚	上	戊	菁
壬	亥	庚	上	戊	菁
壬	亥	庚	上	戊	菁

同異名



納音捷法 八卦之圖

庚 <small>こう</small> 子 <small>し</small>	辛 <small>しん</small> 丑 <small>ちう</small>	壬 <small>にん</small> 寅 <small>いん</small>	癸 <small>かい</small> 卯 <small>ぼう</small>	甲 <small>こう</small> 辰 <small>しん</small>	乙 <small>い</small> 巳 <small>し</small>	丙 <small>ぼう</small> 午 <small>ご</small>	丁 <small>てい</small> 未 <small>み</small>	戊 <small>ご</small> 申 <small>しん</small>	己 <small>こ</small> 酉 <small>ゆう</small>	庚 <small>こう</small> 戌 <small>しゆ</small>	辛 <small>しん</small> 亥 <small>がい</small>
乾 <small>けん</small> 天 <small>てん</small>	兌 <small>たい</small> 澤 <small>たく</small>	離 <small>り</small> 火 <small>か</small>	震 <small>しん</small> 雷 <small>らい</small>	巽 <small>しん</small> 風 <small>ふう</small>	坎 <small>かん</small> 水 <small>すい</small>	艮 <small>こん</small> 山 <small>さん</small>	坤 <small>こん</small> 地 <small>ち</small>	乾 <small>けん</small> 天 <small>てん</small>	兌 <small>たい</small> 澤 <small>たく</small>	離 <small>り</small> 火 <small>か</small>	震 <small>しん</small> 雷 <small>らい</small>

納音捷法
 庚子 辛丑 壬寅 癸卯 甲辰 乙巳 丙午 丁未 戊申 己酉 庚戌 辛亥
 九七五三 八六四二 一
 檢 木 火 土

管之たのめん今も
 お捕まへて何もの
 山行定まらぬ悔な
 事たれん難おな流
 遠くともお下

秘字の八法

漢の文書に神人
 多つて筆乃の真
 美とに教へて後
 月にして承のま
 とめて一切此筆法を
 守りて承のま
 仁しく七十二名を
 つまよこれ後
 筆法の能なり

秘字の八法

側一 変化 十名

咳七 変化 十名

礫八 変化 八名

勢三 変化 六名

勅二 変化 十名

策五 変化 十名

標六 変化 十名

趨四 変化 十三名

本朝五十韻

去音アイウエヲ
 去音カキクケコ
 去音サシスセソ
 去音タチツテト
 去音ナニヌ子ノ
 去音ハヒフヘホ
 去音マミムメモ
 去音ヤ井ユエヨ
 去音ラリルレロ
 去音ワイウエオ

名	天保六乙未年八月再版
王春	正月
中和	二月
始	三月
清和	四月
建	五月
素高	七月
南	八月
大	十月
素高	七月
南	八月
大	十月
素高	七月
南	八月
大	十月

京都書林
 山崎 佐兵衛
 吉野 仁兵衛
 伏見 十三郎

